

2026年 5月 浜松聖書集会のご案内

(時間：午前10時～正午)

- 5月3日(日) (クリエート浜松22号室)
司会：大手 美千代 感話：野澤 功
聖書講話：テサロニケの信徒への手紙2 3章1～18節
「神の愛とキリストの忍耐へ」 水戸 潔
- 5月10日(日) 集会 (クリエート浜松52号室)
司会：溝口 春江
聖書講話：ルカによる福音書 5章1～11節
「しかし、お言葉ですから」 生江 扶左子
- 5月24日(日) 集会 (クリエート浜松 22号室)
司会：武井 陽一
聖書講話： ローマ信徒への手紙 7章15～19節
「土曜学校「告白」を読むその4－青年期のアウグスティヌス」 永井 徹
- 5月31日(日) 集会 (クリエート浜松 52号室)
司会：水戸 潔
聖書講話：サムエル記下 15章30～37節「オリーブ山に登る」 広村 暁
集会後、昼食を頂き、交流の時をもちます。参加者は 武井めぐみ まで申し込み

罪人なるを百も承知で

溝口 正

「愛なる神が余の犯せしすべての悪をわすれたまいて、ただ余のなせし些少
(さしょう)の善をのみ記憶したもうを発見して、驚愕の念にたえざるべし」

内村鑑三の言葉『一日一生』6月11日

罪深い私の心は、この言葉によって心安まる思いに満される。我ら人間にとって、もし神が審判のみの恐ろしい方であるならば、我らに救いはなく、たちどころに滅されるであろう。神は、我らが滅亡に値する人間であることを百も承知で、悪を忘れて少しばかりの善を記憶したもうのである。御子キリストを地上に遣わし、十字架につけたまいは、その具体的証明である。罪深い我らの救われる道は、ここに開かれた。キリストは罪人をゆるすために来り給うた。神の愛のいかに深いかを知って「驚愕の念たえざるべし」である。

(1993年6月 『復活』第321号)